

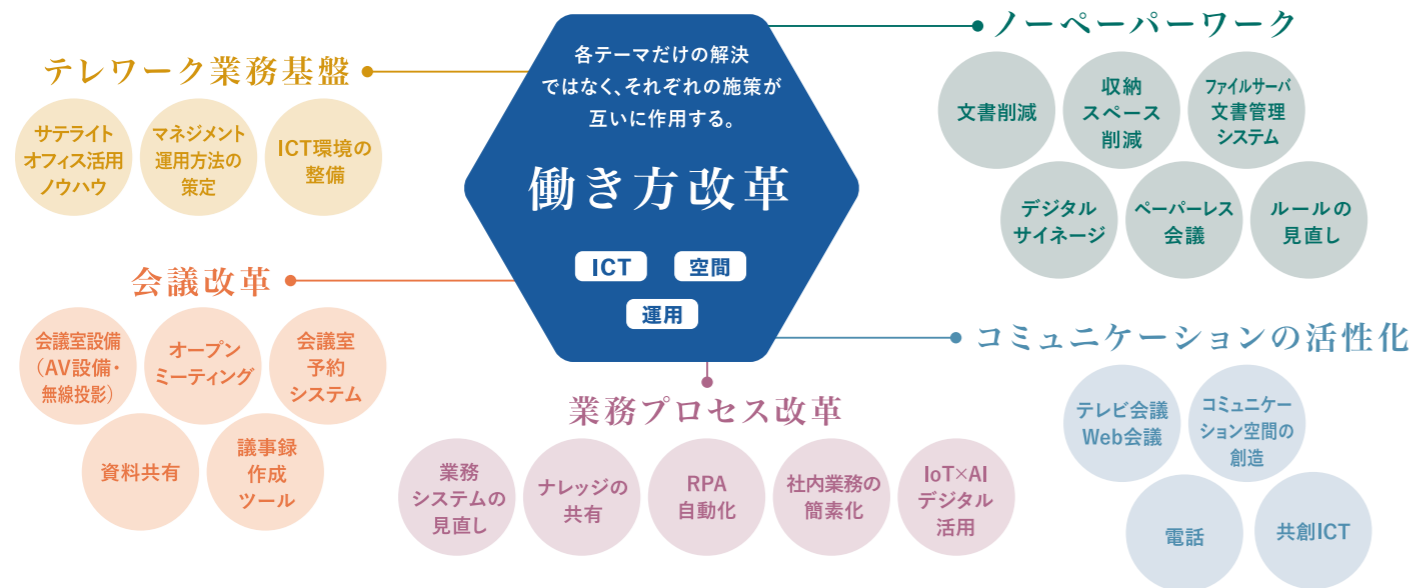
NEC ネットズエスアイがご提案する

# オフィス移転・リニューアルソリューション

オフィス移転やリニューアルは、働く環境を一新し、経営改革や働き方改革を加速させるまたとないチャンスです。当社は、働く場所と働く人を変える独自の改革コンセプト「EmpoweredOffice」にもとづく自社検証実績・ノウハウを活用し、お客様の経営課題を解決するオフィス作りをご支援します。

## 一番大切なのは“あるべき働き方”を描くこと

レイアウトやICTありきではなく、働き方改革実現のためのアイデアをお客様とともに考え、当社が自ら実践してきた取り組みやITベンダならではの多様なノウハウをご提供します。



## オフィスのプランニングから、調査・設計・工事・運用・メンテナンスまで、ワンストップでトータルサポート

**お客さまご自身で手配した場合**

手配、立会い等、煩雑な作業が日常業務のほかに発生します。

不安! 大変!

- セキュリティ構築
- 内装工事
- 引越し
- 間仕切工事
- オフィス家具・役員家具
- 電話・電気・LAN工事
- 現状回復工事
- スペースデザイン
- サーバールームまわり
- 造作オーダーメイド家具
- 情報通信システム

お客さま

**NEC ネットズエスアイに依頼をした場合**

お客さまの手を煩わせることなく、立案からメンテナンスまで、トータルにサポートいたします。

任せて安心!

- セキュリティ構築
- 内装工事
- 引越し
- 間仕切工事
- オフィス家具・役員家具
- 電話・電気・LAN工事
- 現状回復工事
- スペースデザイン
- サーバールームまわり
- 造作オーダーメイド家具
- 情報通信システム

NEC ネットズエスアイ  
プロジェクトマネジメント業務

お問い合わせは、下記の NEC ネットズエスアイへ

ビジネスデザイン統括本部エンパワードオフィス推進本部

TEL: 03-6699-7502

E-mail: si-cafe@dm.nesic.com

http://www.nesic.co.jp

●お問い合わせは下記へどうぞ

※記載されている会社名、サービス名、商品名などは、各社の商標または商標登録です。  
※本紙の記載事項は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※本紙の内容は、2019年6月現在のものです。

NEC ネットズエスアイ株式会社 〒112-8560 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー 電話 03-6699-7000 (大代表)

# ダイバーシティ&コミュニケーションの推進で 未来の働き方を創る。



社名	JR東日本ビルテック株式会社
設立年月日	1990年(平成2年)8月1日
資本金	5千万円
株主	東日本旅客鉄道株式会社 100%
主な事業	東日本エリアにおける駅・鉄道建物・施設を中心に、長年培った専門知識と技術を活かした快適なマネジメント運営を行う

**BT**  
JR東日本ビルテック

## 業界は変革期、働き方も変わっていく。

現在、ファシリティマネジメント業界は大きな変化の中にあります。日本中で問題となっている人手不足に加え、IoTなどのテクノロジーを活用した業務の自動化、サービスの差別化などが求められており、私たちの仕事のやり方も刷新が求められています。

新しい風を吹き込むために大切なことは、ダイバーシティ&コミュニケーション。現場の社員たちからいろいろな意見を出してもらい、具現化していく必要があります。そこで当社では、部門の壁を取り払って社員間のコミュニケーションを活発化させるため、オフィスの大規模なリニューアルを行いました。実際にリニューアルプロジェクト自体も社員たちに委ね、現場目線のオフィス改革を進めてもらいました。

リニューアル後は、間違いなく社内のコミュニケーションは増え、働き方も変わってきていると感じています。今後は社員の健康管理やマインドフルネスなどの施策にも取り組みたいと考えており、これからもNEC ネットズエスアイと一緒に新しい組織のあり方を模索していきたいです。



JR東日本ビルテック株式会社 代表取締役社長 横山 淳 様

NEC ネットズエスアイ

オフィスリニューアルコンセプト

# To Create Innovation Mind!

JR東日本の駅、そして駅周辺の賑わいを創出しているJR東日本ビルテック様は、NECネットエスアイとともにオフィスの大規模なリニューアルを実施。オフィス環境だけでなく社員の働き方も革新するプロジェクト事例をご紹介します。

**プロジェクト概要**  
規模  
約210名/1フロア450坪  
PJ期間  
2018年9月～  
2019年2月



**サイネージシステム**  
フロア内各所に天吊りで設置し、社内の情報を自然とキャッチ。



**無人受付システム**  
オフィスの受付をタブレットで無人化し、受付業務を省力化

## 文書の一覧化から管理規定見直しまで 5Sを徹底した ノーペーパーワーク

紙文書  
40%削減

従来の紙ベースの働き方では情報が属人化してしまい、業務効率を損なうだけでなく、オフィス空間も圧迫します。今回のリニューアルでは膨大な既存文書の整理と一覧化に始まり、管理規定の見直しによって、ペーパーレスの情報共有環境を整備しました。

### ▶ 膨大な紙資料を大幅に削減

オフィスリニューアル前は一人ひとりにデスクと袖机があり、書棚やキャビネットなどにも紙の文書が溢れていました。紙文書の削減にあたっては、まず部署ごとの書類の種類や量を把握するのが非常に大変でしたが、一覧表の作成や文書の管理規定に関してNECネットエスアイに助言をもらいながら進めることで、40%もの紙文書の削減に成功しました。必要な書類を探す時間や手間も削減でき、業務も大幅に効率化できました。

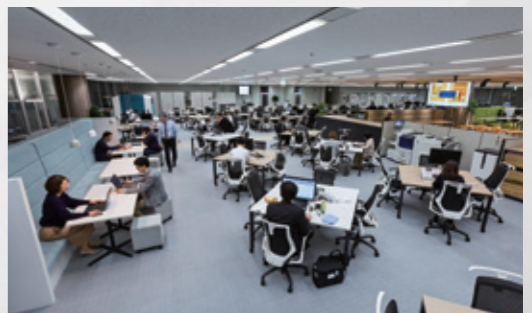
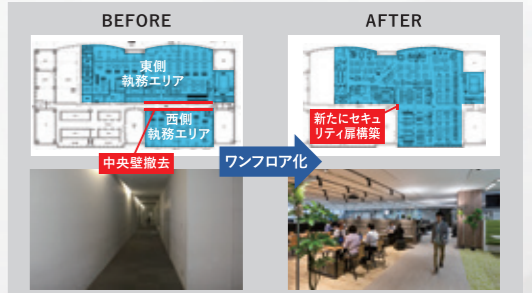


総務部 総務グループ  
主任補 吉川 ひとみ様

机上面積/人  
40%削減

## ワンフロア&フリーアドレス 部署を超えた コミュニケーションの 活性化

リニューアル前のオフィスは固定の自席があり、かつフロア中央が壁で分断されていたため、他部署との交流があまりない環境でした。今回のリニューアルでは、壁をなくしてワンフロア化、さらにフリーアドレス制を導入。一人あたりのデスクサイズ(40%削減)と席数(15%削減)を大幅にスリム化し、オープンスペースを増やしました。毎日座席が変わるため、部署を超えたコミュニケーションが必然的に生まれます。



オフィス内を見渡せるフラットでオープンなオフィス

### 座席抽選システム

ルーレット形式で毎日の座席が決定。毎日同じ席に座ってしまうような、席の固定化を防ぎます。

## 業務に応じて働く場所を自由に選択 新たな発想・価値が 生まれるオフィス

オープン  
ミーティングスペース  
約2.3倍増  
(6ヵ所58席  
↓  
29ヵ所132席)

オープンなミーティングスペース、集中スペース、リフレッシュエリア、立ったまま会議ができるデスク、セミクローズ会議室など、そのときの業務内容に応じて柔軟に働く場所を選択。フロア中央の多機能多用途に使えるコミュニケーションスペースには、自然と人が集まるカフェの機能や大型スクリーンをフロア中央のコミュニケーションスペースは多機能・多用途に使うことができます。自然と人が集まるカフェ機能として、また、通常は打合せとして利用しながらも、大型スクリーンを備えているので有事の際は安全対策エリアとしても機能します。



ミーティングスペース



立ちミーティング  
(天板下はキャビネットとして活用)



### 会議室予約システム

会議室が一定時間使用されなかった場合、自動で予約がキャンセルされ、会議室の運用を最適化。

### ▶ 空間品質の向上で柔軟な発想が生まれる

今回のオフィスリニューアルにおける大きな変化は、社内のパーティションや部内の壁などの垣根を取り払い、フリーアドレスにした点です。初めての業務形態で不安もありましたが、想定以上に社員同士の交流が増えました。NECネットエスアイに対しても思い切った提案を求めましたが、企画段階から非常に良い提案をしてもらい、施工から運用まで尽力してもらいました。リニューアル以降、社員の様子が互いに見えるため、それぞれの課題が分かるようになり、また社員間の結びつきが強くなった気がします。



取締役 経営企画部  
部長 古賀 和博様

### ▶ 社員の意識を変え、自由に働ける場をつくる

働き方を変えるためには社員の意識を変えることも必要です。私はプロジェクトの事務局として社員の意見を丁寧に聞き、社内の調整に尽力しました。これからの働き方とオフィスのあり方については社内で何度も議論を重ねましたが、こちらがアイデアを出すたびにNECネットエスアイはさまざまな提案を返してくれ、非常に助けてもらいました。今後は省エネや社員の健康管理などにも取り組むので、引き続き支援をお願いしたいと思っています。



経営企画部 経営企画グループ  
総括主任 杉村 達朗様



カフェ&ミーティングスペース



集中席

### ▶ 気分に合わせて環境を変え、生産性が向上

私は以前、グループ会社に出向してフリーアドレス制度を経験したことがありました。そこで、今回のリニューアルでは当時の経験を生かして休憩室でも仕事ができるように考慮したり、立ちミーティングできるスペースや座席のシャッフル制度などを導入し、さらに進化したオフィスづくりをめざしました。どこでも図面を広げて検討でき、気分に合わせて作業スペースを選べるのが社員のモチベーションアップにつながっています。



ビル事業本部 新規開発部  
総括主任 成田 健一郎様

もっと詳しく  
知りたい方は  
こちら!

